

04C-013

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2001年 3月12日

出 願 番 号
Application Number:

特願2001-068522

出 願 人
Applicant (s):

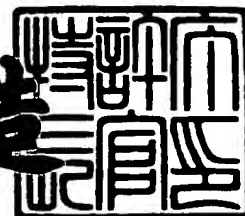
李 文生
株式会社エヌ・ディー・ピー

J1046 U.S. PTO
09/905354
07/13/01

2001年 3月30日

許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3024967

【書類名】 特許願

【整理番号】 Q00085X

【提出日】 平成13年 3月12日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 12/00

【発明者】

 【住所又は居所】 千葉県市川市堀の内3丁目16番29号 リバティーヒル壱番館405号

 【氏名】 李 文生

【特許出願人】

 【識別番号】 500331334

 【氏名又は名称】 李 文生

【特許出願人】

 【識別番号】 500329560

 【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ディー・ビー

 【代表者】 李 文生

【代理人】

 【識別番号】 100081721

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 岡田 次生

【選任した代理人】

 【識別番号】 100111969

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 平野 ゆかり

【先の出願に基づく優先権主張】

 【出願番号】 特願2000-212218

 【出願日】 平成12年 7月13日

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 034669

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プールの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 個人情報の管理システムおよび利用プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】複数の会員について識別コードおよび会員に関する情報を格納する会員データベースと、

前記会員データベースに接続されたウェブサーバと、を備え、

前記ウェブサーバは、インターネットを介してのユーザからのアクセスに応じて、前記識別コードの入力フィールドを有する HTML 文書をユーザに送信し、ユーザからの前記識別コードの送信に応答して該識別コードをキーとして前記会員データベースを検索して該識別コードに対応する会員の情報を取り出し、該情報をユーザに送信するよう構成されている情報管理システム。

【請求項 2】前記ウェブサーバは、それぞれのユーザが前記会員の情報を管理するために使うことのできるデータベース・プログラムを備えており、ユーザからのアクセスに応じて該データベース・プログラムのダウンロードを要求するためのボタンまたは入力フィールドを備える HTML 文書をユーザに送信し、ユーザから該要求が送信されることに応答して前記データベース・プログラムをユーザに送信するよう構成される請求項 1 に記載の情報管理システム。

【請求項 3】前記ウェブサーバは、名刺作成データベースを備えており、会員からのアクセスに応じて名刺作成用のテンプレートおよび入力フィールドを有する画面の HTML 文書を該会員に送信し、該会員からの入力に応じて名刺印刷の注文を受けるよう構成されており、前記テンプレートには前記会員データベースから前記会員の名刺データが読み出されて記入されている請求項 1 に記載の情報管理システム。

【請求項 4】前記ウェブサーバは、それぞれの会員について該会員に関する情報をダウンロードしたユーザのメール・アドレスを記録する記録手段を備えており、前記ウェブサーバは、会員のデータに変更があったときは、前記記録手段を参照して該会員の情報をダウンロードしたユーザに該変更をメール送信するよう構成されている請求項 1 に記載の情報管理システム。

【請求項 5】複数の会員について識別コードおよびそれぞれの会員に関する情

報を格納する会員データベース、および前記会員データベースに接続されたウェブサーバを備え、前記ウェブサーバは、インターネットを介してのユーザ・アクセスに応じて、前記会員データベースを検索して会員の情報を取り出しユーザに送信するよう構成されているシステムとの関連で使用するに適したプログラムであって、

前記ウェブサーバからダウンロードした前記会員の情報を住所録に格納する機能と、

コンピュータのスクリーンにハガキその他のカードのメッセージ記入面を作成するためのテキスト・ブロックおよび画像を貼りつけるためのピクチャ・ブロックを有する入力画面を表示する機能と、

前記住所録のデータに基づいてカードの宛先を設定する機能と、
を有するプログラム。

【請求項 6】ユーザ・リクエストに応じて前記ウェブサーバからユーザに送信される請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 7】CSV 形式の名前、住所データをインポートし、またはエクスポートすることができるよう構成されている請求項 6 に記載のプログラム。

【請求項 8】送信ボタンをクリックすることにより前記カードを電子メールで宛先に送信する機能をさらに有する請求項 5 に記載のプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、インターネットを利用した情報管理システムに関し、より具体的には名刺を媒介とした情報の管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

ビジネスおよび一般の社会生活においてパーソナル・コンピュータ、情報端末装置、携帯電話などを利用して個人間で電子的に通信を行うことが普及してきている。また、個人の住所、勤務先、電話番号、Eメールアドレスなどを効果的に人に伝える手段として名刺が幅広く利用されている。業種によっては一日に何枚

もの名刺を交換し、年間を通じると一人で数百から千を超える名刺を配布し、また、同様の数の名刺を受け取ることがある。このような名刺から得られるデータを含め、多数の関係者に関するデータをそれぞれの個人が管理するための手段として、住所録、アルバム式の名刺ホルダなどがあるが、更新などの整理が煩雑であり、また電子的に検索することができないという欠点がある。

【 0 0 0 3 】

検索機能を利用するためには、名刺情報を電子ファイルに変換してデータベース化する必要がある。そのための装置として、OCR機能を利用して名刺を読みとって電子化し、データベースに格納することが提案されているが、名刺には小さい文字が使われるため文字の読み誤りを生じるなど欠点が多い。また、このような場合データベースが単なるアドレス帳の域を出ない。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

このように、多数の人の個人情報を一元的に整理し、利用することができるシステムおよびプログラムに対する必要性が存在する。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

この発明は、一面において、複数の会員について識別コードおよびそれぞれの会員に関する情報を格納する会員データベースと、前記会員データベースに接続されたウェブサーバと、を備え、前記ウェブサーバは、インターネットを介するユーザからのアクセスに応じて、前記識別コードの入力フィールドを有するHTML文書をユーザに送信し、ユーザからの前記識別コードの送信に応答して該識別コードをキーとして前記データベースを検索して該識別コードに対応する会員の情報を取り出し、該情報をユーザに送信するシステムを提供する。

【 0 0 0 6 】

この発明によると、名刺に印刷された識別コードおよびURLに基づいてユーザが会員に関する情報を自己のパーソナル・コンピュータ、携帯電話、携帯情報端末などにダウンロードすることができるので、格別な入力作業を要することなく会員に関する情報の電子ファイルを得ることができる。

【0007】

また、この発明によるシステムは、一面によると、ウェブサーバが、それぞれのユーザが前記会員の情報を管理するために使うことのできるデータベース・プログラムを備えており、ユーザからのアクセスに応じて該データベース・プログラムのダウンロードを要求するためのボタンまたは入力フィールドを備えるHTML文書をユーザに送信し、ユーザから該要求が送信されることに応答して前記データベース・プログラムをユーザに送信するよう構成されている。

【0008】

さらにこの発明によるシステムは、他の側面によると、ウェブサーバが、名刺作成データベースを備えており、ユーザからのアクセスに応じて名刺作成用のテンプレートおよび入力フィールドを有する画面のHTML文書をユーザに送信し、ユーザからの入力に応じて名刺印刷の注文を受け付けるよう構成されている。

【0009】

さらにこの発明によるシステムは、一面によると、ウェブサーバは、それぞれの会員について該会員に関する情報をダウンロードしたユーザのメールアドレスを記録する記録手段を備えており、ウェブサーバは、会員のデータに変更があったときは、会員の情報をダウンロードしたユーザにこの変更をメール送信するよう構成されている。

【0010】

この発明は、一面において、複数の会員について識別コードおよびそれぞれの会員に関する情報を格納する会員データベース、および会員データベースに接続されたウェブサーバを備え、ウェブサーバは、インターネットを介してのユーザ・アクセスに応じて、会員データベースを検索して会員の情報を取り出しユーザに送信するよう構成されているシステムとの関連で使用するに適したプログラムであって、ウェブサーバからダウンロードした会員の情報を住所録に格納する機能と、コンピュータのスクリーンにハガキその他のカードのメッセージ記入面を作成するためのテキスト・ブロックおよび画像を貼りつけるためのピクチャ・ブロックを有する入力画面を表示する機能と、前記住所録のデータに基づいてハガキの宛先を設定する機能と、を有するプログラムを提供する。

【 0 0 1 1 】

この発明の一実施形態では、このプログラムは、ユーザ・リクエストに応じてウェブサーバからユーザに送信され、CSV形式の名前、住所データをインポートし、またはエクスポートすることができるよう構成されている。

【 0 0 1 2 】

また、もう一つの実施形態では、このプログラムは、送信ボタンをクリックすることによりハガキその他のカードを表面、裏面を左右または上下に配置するHTMLファイルの形で、電子メールで宛先に送信する機能を有している。

【 0 0 1 3 】

また、もう一つの実施形態では、請求項1に記載のシステムは、複数回に送信された同一識別コードの会員情報の変更履歴をデータベース化して記憶し、識別コードをキーとして、検索する管理する機能を有している。

【 0 0 1 4 】

また、もう一つの実施形態では、請求項1に記載のシステムは、ユーザの要求に応じて、データベースに保管する会員情報を引出し、HTMLファイルの形で、特定のレイアウトをもってブラウザで表示する機能を有している。

【 0 0 1 5 】

【発明の実施の形態】

次に図面を参照してこの発明の実施の形態を説明する。図1は、この発明による情報管理システムの全体的な構成を示すブロック図である。ウェブサーバ13は、インターネット10を介して任意のパーソナル・コンピュータ、インターネット対応の携帯電話、携帯情報端末に接続される。会員Aは、インターネット・プロバイダとの接続設定を行ったパーソナル・コンピュータ11A上でブラウザを起動し、ウェブサーバ13のURLアドレスを入力することにより、ウェブサーバ13に接続することができる。ブラウザは、インターネット通信を行うためのプログラムで、典型的にはマイクロソフト社のインターネット・エクスプロアラ、ネットスケープ社のネットナビゲータがある。

【 0 0 1 6 】

ウェブサーバ13は、通信制御部13A、会員のデータ（ネーム・データ）をデー

データベース15Aに登録する機能を実行するND（ネーム・データ）登録部13B、会員のデータをユーザに配信するND配信部13C、および会員からの要求に応じて名刺を作成するオンライン名刺作成部13Eを備えている。ハードウェア的には、ウェブサーバ13は、汎用コンピュータ・システムであり、ND登録部13B、ND配信部13C、オンライン名刺作成部13Eは、プログラムで実現される。通信制御部13Aは、インターネット10を介しての通信を制御する機能を有し、HTTPプロトコルによる通信ユニットおよび通信に使用するHTML文書を作成し、ユーザからの送信に対応するCGI（Common Gateway Interface）プログラムを備えている。CGIプログラムは、典型的にはJavaスクリプトで記述され、C言語その他の言語で記述することもできる。

【0017】

ネーム・データのデータベース15A、追跡テーブル15B、および名刺作成データベース15Cは、この実施例ではオラクル社のデータベース・プログラムで構成されている。

【0018】

この明細書では、このシステムにデータを登録し、このシステムのIDを所有する利用者を会員と呼び、このシステムからデータをダウンロードして利用する利用者をユーザと呼ぶ。したがって、多くの場合、会員はこのシステムのユーザでもある。

【0019】

図2は、任意のパーソナル・コンピュータ11Aからブラウザを起動してこの発明の情報管理システムのホームページにアクセスしたときにブラウザに表示されるトップ・ページの画面の例をブロック図的に示している。

【0020】

このトップ・ページは、HTML文書で形成されており、バナー広告21は、インラインイメージ機能を使ってHTML文書にバナー広告のイメージ・ファイルのURLが埋め込まれている。HTML文書は基本的にテキスト文書であり、トップ・ページに含まれる図形およびイメージは、インラインイメージ機能としてアンカータグを使用してHTML文書にテキスト形式で記述されている。

【 0 0 2 1 】

パーソナル・コンピュータ11AがHTML文書を受け取ると、ブラウザがHTML文書を実行し、GETコマンドをウェブサーバ13に送り、この埋め込まれているURLに位置するイメージ・ファイルの転送をリクエストする。ウェブサーバ13のCGIプログラムがこのリクエストに応答し、ウェブサーバ13の記憶装置から要求されたURLにあるイメージ・ファイルを取り出し、要求元のパーソナル・コンピュータ11AにMIMEファイルとして送信する。パーソナル・コンピュータ11AのブラウザがこのMIMEファイルの受信に応答してイメージ・ファイルをHTML文書で指定された箇所に表示する。こうしてバナー広告21がブラウザに表示される。その他の図形およびイメージについても同様のプロセスを経てブラウザに表示される。

【 0 0 2 2 】

図2に示すトップ・ページには、会員ページにログインするための入力部分22、ユーザがネーム・データをダウンロードするための入力部分23、ユーザがネーム・データを活用するための名刺管理プログラムをダウンロードするためのボタン25、ユーザが会員登録するための登録ページにハイパーリンクしたボタン26、およびユーザがネーム・データを検索するための入力部分27が備えられている。

【 0 0 2 3 】

このようにブラウザから文字を入力することができるページは、フォームと呼ばれ、フォームのHTML文書は、典型的にはJavaスクリプトで記述される。このようなHTML文書およびこれに対応するCGIプログラムは、ブラウザ上に表示される画面をデザインし、ソフトウェア・ハウスに業務委託することにより作成することができる。したがって、この明細書では、ブラウザ上の画面だけを示し、HTML文書およびCGIプログラムの例示は省略する。

【 0 0 2 4 】

会員の登録

会員としてこの実施例の情報管理システムに登録を希望する人は、図2に示すこのシステムのホームページからボタン26をクリックして、会員登録用のページに入る。会員登録用のページは、入会希望者について会員基本情報を記入するよ

う構成されている。

【 0 0 2 5 】

会員基本情報が入力され、ウェブサーバ13に送信されると、ネーム・データ登録部13Bが書式的なチェックを行い、エラーがなければ会員IDを発行し、パーソナル・コンピュータ11Aに返送する。一実施例では、この会員IDは、入会申し込みを受け付けた後に、電子メールにより申込者に通知される。一実施例では、会員IDと同時に臨時のパスワードが会員に通知され、会員は、この会員IDおよび臨時パスワードを使って会員ページにログオンし、パスワードを変更することができる。

【 0 0 2 6 】

会員は、会員ページにおいて自己のネーム・データを入力し、ウェブ・サーバに送信すると、ウェブ・サーバがそのネーム・データに対するネーム・データID (ND_ID)を発行し、会員に通知する。会員は、複数種類のネーム・データを登録し、複数のND_IDを取得することができる。たとえば、業務用の名刺に関連するネーム・データと、私用の名刺に関連するネーム・データを登録し、別々のND_IDを取得することができる。

【 0 0 2 7 】

このような個別の入会手続きに加えて、企業などの大口の利用者は、従業員の名刺データを一括してこのシステムの登録することができる。具体的には、システムの管理用パーソナル・コンピュータから多数の従業員についてのデータをデータベースに入力することができる。また、企業から従業員の名刺データを電子ファイルで提供してもらい、この電子ファイルをデータベースにインポート（移植）することができる。

【 0 0 2 8 】

一旦登録したデータの変更を希望する会員は、会員ページへのログオン部22から会員ページにログインし、会員データの変更ページに入るためのボタンを押すと、ブラウザにデータを変更するための入力画面が表示される。この画面には、現在登録されているデータが表示され、表示フィールドは書き込み可能なフィールドとして形成されているので、表示されたデータに上書きすることにより、デ

ータを訂正することができる。

【0029】

会員データベース

こうして入会手続きが完了した会員のデータは、会員データベース15Aに格納される。会員データベース15Aでは、ND_IDにつき1つのレコードが作成され、1つのレコードには、次の表に示すフィールドがある。

【0030】

【表1】

- ・ 氏名
- ・ ND_ID
- ・ 自宅住所
- ・ 自宅電話番号
- ・ 自宅ファクス番号
- ・ 勤務先
- ・ 勤務先住所
- ・ 勤務先電話番号
- ・ 勤務先ファックス番号
- ・ eメールアドレス
- ・ URL
- ・ 趣味
- ・ 所属するクラブその他の団体
- ・ 画像
- ・ 音声
- ・ テキストコメント
- ・ 家族情報
- ・ 公開レベル

【0031】

ND_IDの名刺表示

会員は、自己の名刺にウェブサーバ13のURLおよび自己のND_IDを表示する

ことができる。図3は、後に説明するオンライン名刺作成で使用するテンプレートを示すが、このテンプレートの右下にウェブサーバ13のURLが表示されている。図3の45dの位置にND_IDが印刷される。

【0032】

ネーム・データのダウンロードまたは表示

会員から名刺を受け取った人は、名刺に表示されているホームページにアクセスし、その会員に関するデータを自己のパーソナル・コンピュータまたはインターネット対応の携帯電話にダウンロードまたは表示することができる。

【0033】

図2に示すトップ・ページを参照すると、ユーザは、区分23のIDフィールドにその情報をダウンロードまたは表示したい会員のND_IDを入力し、メール・アドレス・フィールドおよび氏名フィールドに自己のメール・アドレスおよび氏名を入力し、氏名フィールドに下に位置する「ダウンロード」または「表示」の文字をクリックしてダウンロードまたは表示を選択し、その下のGOボタンをクリックする。ウェブサーバ13のネーム・データ配信部13Cがこれに応答し、ユーザから送信されたND_IDをキーとして会員データベース15Aを検索し、該当する会員のデータを取りだし、「ダウンロード」が指定されたときは、HTTPプロトコルによりネーム・データのファイルがユーザに送信される。「表示」が指定されているときは、HTML文書でネーム・データがブラウザに送信され、ブラウザ上に表示される。

【0034】

このような会員のデータをダウンロードするに先立ち、ユーザはこのシステムのホームページのトップページ（図2）のボタン25をクリックすることにより、会員のデータを活用するためのプログラムをダウンロードすることができる。プログラムは、ホームページからダウンロードしたデータを電子アドレス帳の形態で活用するためのものである。

【0035】

ユーザは、このようなホームページからダウンロードされるプログラムに替えて、たとえばマイクロソフト社のエクセル・プログラムのような表計算プログラ

ムまたは同社のアクセスのようなデータベース・プログラムに受信したデータをインポートして利用することもできる。

【 0 0 3 6 】

ユーザが、トップページ（図 2）の検索フィールド 27 に検索キーワードを入力し G O ボタンをクリックすると、ウェブサーバ 13 のネーム・データ配信部 13 C がこれに応答し、ユーザから送信されたキーワードを検索キーとして会員データベース 15 A を検索し、該当するデータをユーザに送信する。送信されたデータは、ユーザのブラウザに表示される。表示されているデータのダウンロードを希望するときは、ユーザは、ブラウザのメニューからダウンロードを選択し、ダウンロード先のフォルダを指定することにより、このデータをダウンロードすることができる。

【 0 0 3 7 】

追跡テーブル

ユーザは、会員のデータをダウンロードする際、トップ・ページの区分 23 で ND_ID の隣に配置されている追跡ボックスをクリックしてデータの追跡を選択することができる。この場合、ネーム・データ配信部 13 C は、追跡対象とされた会員と追跡情報を希望するユーザとの対応を記録する追跡テーブル 15 B にこのユーザの e メールアドレスおよび氏名を記録する。このテーブル 15 B は、たとえば次の表に示すような形をとる。

【 0 0 3 8 】

【表 2】

<u>会員 I D</u>	<u>ND_ID</u>	<u>追跡希望ユーザ氏名</u>	<u>メールアドレス</u>
jnd00321	we1234	X X X X X X	xxxxxxxxxxxx
		Y Y Y Y Y Y	yyyyyyyyyyyy
	wr4567	Z Z Z Z Z Z	zzzzzzzzzzzz
jnd00345	ty0987	A A A A A A	aaaaaaaaaaaa

【 0 0 3 9 】

前述したプロセスによって、会員が自己のデータを変更すると、ネームデータ登録部 13 B がこれに応答して、この会員の ND_ID が追跡テーブル 15 B にあるかどうか

かをチェックし、あるときは、このテーブルに記録されているメールアドレスにこの会員の変更されたデータを送信する。一実施例では、この変更データの送信は、その会員について公開が許可されているすべてのデータを含むファイルをメールの添付ファイルとして送信する形態で実行される。このファイルを受信したユーザは、このファイルで古いファイルを上書き、すなわち差し替える。

【 0 0 4 0 】

会員は、図 2 の会員ページへのログオン区分 22 から会員ページに入り、メニューから追跡テーブルを選択することにより、自己の追跡テーブルを閲覧することができる。追跡テーブルに好ましくない追跡者が含まれている場合は、そのような追跡者を削除することができる。

【 0 0 4 1 】

オンライン名刺印刷

会員は、ホームページのトップページ（図 2）から、会員ページにログインし、会員ページからオンライン名刺印刷のページに入ることができる。図 3 は、オンライン名刺印刷のプロセスの流れを示すフローチャートである。オンライン名刺印刷のページに入ると、まず印刷価格のメニューが表示される（301）。名刺用紙のグレード、カラー印刷か白黒印刷か、および印刷枚数によって複数の価格が用意されている。ユーザがその中から希望するものを選択してクリックする。たとえば、価格メニューは、次の表に示すような形態をとる。

【 0 0 4 2 】

【表 3】

用紙	白黒				カラー			
	片面		両面		片面		両面	
	50枚入	100枚入	50枚入	100枚入	50枚入	100枚入	50枚入	100枚入
再生紙A	750	950	1100	1250	990	1250	1400	1800
再生紙B	750	950	1100	1250	990	1250	1400	1800
プリンス	700	900	990	1200	950	1200	1300	1700
ホワイト	700	900	990	1200	950	1200	1300	1700

【 0 0 4 3 】

ブラウザに表示される価格表に示される価格は、テンプレート選択画面にリンクされている。ユーザがこの表の中から一つを選択してクリックすると、その情報がウェブサーバに送信されて、ユーザが選択した内容がオンライン名刺作成プログラム部13E（図1）に記憶される（303）。ウェブサーバは、これに応答してインターネットを介してテンプレート選択画面をこのユーザに送信する（305）。

【 0 0 4 4 】

図4は、このテンプレート選択画面の一例を示す。テンプレートにはこのシステムが用意したシステムテンプレートと、ユーザが予めテンプレート作成画面を用いて作成してシステムに登録したユーザテンプレートの2種類がある。システムテンプレートのボタンをクリックすると、システムが用意した複数のテンプレートがスクリーンに表示される。テンプレートは、名前、勤務先、住所、顔写真などのアイテムの配置を変えたものが10から20用意されており、画面をスクロールさせることによってスクリーンに表示させることができる。こうして希望するレイアウトのテンプレートを決定し、そのテンプレートをクリックすると（307）、決定情報がインターネットを介してオンライン名刺作成プログラム部13Eに送られ、名刺作成プログラム部13Eは、これに応じて名刺入力フォームをユーザに送信する（309）。

【 0 0 4 5 】

この名刺入力フォームは、次の表に示すような項目の入力フィールドを備えている。My IDの入力フィールドに自己のネームデータIDであるND_IDを入力して送信ボタンをクリックすると、この情報が名刺作成プログラム部13Eに送信され、名刺作成プログラム部13Eは、これに応じてデータベースを検索してこの識別コードに関連するデータを名刺入力フォームの対応するフィールドにはめ込んでユーザに送信する。したがって、ブラウザには、表4の項目に自己のデータがはめ込まれた画面が表示される。ユーザは、この画面上で入力フィールドに上書きすることによって、名刺に印刷すべき項目の表現を変更することができる（311）。

【0046】

このシステムに会員登録していないユーザは、この入力フォームの各フィールドにワープロで入力することにより、名刺に印刷すべき項目の表現を設定することができる。

【0047】

【表4】

ND_ID	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
勤務先	<input type="text"/>
役職	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
住所1	<input type="text"/>
住所2	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
ファックス番号	<input type="text"/>
Email アドレス	<input type="text"/>

【0048】

こうして名刺印刷に必要な項目の入力を終えて入力フォームの下方に備えられているプレビューボタンをクリックすると、印刷されるべき名刺そのもののイメージが表示される（312）。内容とレイアウト等に修正すべき点があるなら作成画面に戻って修正し、修正すべき点がなければ送信ボタンをクリックする。これに応じて、その情報がウェブサーバ13に送られ、名刺作成部13Eがこれに応じて発注者および名刺の納品先の情報を入力するためのフォームをユーザに送信する（315、317）。このフォームは、基本的には表4に示した入力フィールドと類似の入力フィールドを備えており、発注者の情報および名刺の納品先を入力することができるよう構成されている。企業が社員の名刺の印刷を注文する場合、発注者は、企業であり、納付先は、その企業の総務部門または社員が所属する部門になる。納品先が発注者と同じであるときは、発注者と同じと表されるボタンをクリックすることにより、納品先フィールドの入力を省略することができる（317）。

【0049】

これらの項目を入力して入力フォームに備えられている送信ボタンをクリックすると、入力された情報がウェブサーバ13に送信され、オンライン名刺作成プログラム部13Eがこれに応答して、入力された項目を整えて表示する確認画面をユーザに送信する(319)。ユーザがこの確認画面で確認し、確認画面に含まれる確認ボタンをクリックすると、そのイベントがウェブサーバ13に送信され、オンライン名刺印刷プログラム13Eがこれに応答して、システムに接続されたプリンタにデータを送って名刺印刷を開始させる。名刺印刷は、受注後すぐに開始する必要はなく、システムの負荷が小さい時間帯を選んで実行させることが好ましい。

【0050】

図5は、もう一つの実施例におけるオンライン名刺印刷のためのページを示す。ユーザがテンプレートの選択フィールドでテンプレートを選択してGOボタンをクリックすると、オンライン名刺作成部13Eがこれに応答し、選択したテンプレート45をユーザに送信する。その際、オンライン名刺作成部13Eは、ユーザがこのシステムの会員である場合は、この会員がログインしたIDをキーとして会員データベース15Aを検索して、この会員のネームデータを取りだし、テンプレートにはめ込む。

【0051】

したがって、会員のブラウザに表示されるテンプレート45には、名刺作成に必要なすべてのデータが記入済みである。テンプレート45の各項目に付属している「編集」ボタンをクリックすると、ウェブサーバから書体、フォント、色を指定するためのフォームがブラウザに送信される。会員がこのフォームに入力して送信すると、その結果の画面がサーバからブラウザに送信される。図案、写真などの画像45eは、クライアント側からアップロードすることができる。

【0052】

名刺を印刷する用紙の種類を紙の選択フィールド46で選択し、印刷枚数をフィールド47に記入し、注文確定ボタン49をクリックすると、編集された内容の名刺の印刷がウェブサーバ13に送信される。こうして確定した名刺のデザインは名刺

作成データベース15Cに保存され、次回の注文の際に参照される。ウェブサーバ13上でこのネーム・データ・システムを運営する企業は、この注文内容で名刺の印刷を実行して納品する。または印刷会社に名刺の印刷を実行させ、印刷会社から直接会員に納品させることもできる。こうしてネーム・データベース15Aに格納された内容を利用して名刺を作成することができる。

【0053】

利用プログラム

ユーザはこのシステムのホームページのトップページ（図2）のボタン25をクリックすることにより、会員のデータを活用するためのデータ利用プログラムをダウンロードすることができる。図6に示すようにデータ利用プログラムは、ホームページからダウンロードしたデータを住所録の形態で活用する機能と、ハガキを作成する機能を備えている。同様にデータ利用プログラムは、グリーティングカードを作成する機能を備えることができる。グリーティングカードは、サイズに特別な制約がない点でハガキと異なるが、その他の点ではハガキ作成機能と共通している。

【0054】

住所録は、データをCSV形式で格納するので、たとえばマイクロソフト社のエクセル・プログラムのような表計算プログラムまたは同社のアクセスのようなデータベース・プログラムなどからデータをCSV形式でインポートし、またはこれらにエクスポートすることができる。

【0055】

この実施例で使われる住所録の基本的な構成は、マイクロソフト社のインターネット・エクスプロアラ（ブラウザ・プログラム）のメール機能に備えられているアドレス帳と同じであってよい。ただし、詳しい個人情報を格納するために家族情報、電話番号、ファックス番号、生年月日、勤務先情報、写真ファイルへのリンク、コメントなどを記録するフィールドを備えている。

【0056】

図7は、データ利用プログラムのハガキその他のカード作成機能の流れ図である。ユーザがデータ利用プログラムのメニューから「ハガキ作成」を選択すると

、ハガキその他のカード作成のための初期画面がスクリーンに表示される。ユーザがテンプレート選択のアイコンをクリックすると、ハガキその他のカードの図案のテンプレートが表示される(701)。このテンプレートは、図4に示した名刺作成のためのテンプレートと構造的には同じで、図4の名刺に代えてハガキその他のカードの複数の背景図案を提供するものである。表示された複数のテンプレートの一つがユーザによってクリックされると、図9に示すハガキの宛先および差出人の編集ボックスがスクリーンに表示される。このスクリーンに表示されるメニューバーから宛先、差出人、の選択アイコンをクリックすると、名刺データの設定画面が表示される。

【0057】

差出人の欄には、ユーザの予め保存された名前および住所が表示される。表示された名前または住所を修正したいときは、ユーザは名前フィールドまたは住所フィールドに直接ワープロで記入することができる。受取人フィールドには、住所録に含まれている名刺データのすべての人の一覧が表示される。ユーザは、この一覧表からこのハガキを送るべき相手を選択してクリックすると、受取人の氏名フィールド、住所フィールド、組織名フィールド、Emailフィールドに選択された人のデータが表示される。

【0058】

差出人、宛先データの入力フォームへの記入(703)を終え、このフォームの下方に備えられている「次に」のボタンをクリックすると、このボタンにリンクしている図8に示すようなハガキのメッセージ記入面の編集画面が表示される(705、707)。この編集画面には、テキストを記入するためのテキストボックスと、画像をはめ込むためのピクチャボックスが備えられている。

【0059】

ユーザは、利用中のパーソナルコンピュータのワープロ機能を使用してテキストボックスにメッセージを記入することができる。また、ユーザは、利用中のパーソナルコンピュータに保存してある写真その他の画像ファイルをピクチャボックスに貼り付けることができる。こうしてハガキのメッセージ記入面の編集を終了する。

【 0 0 6 0 】

メッセージ記入面の編集を終え、画面の下方にある「次に」のボタンをクリックすると、差出人、宛先、ハガキの全体図を示す確認画面が表示される。この確認画面の下方にある「メールで送信」ボタンをクリックすると、作成されたハガキその他のカードが表面、裏面を左右または上下に配置するHTMLファイルの形で、電子メールの本文として宛先に送信される。確認画面の下方にある「適用」ボタンをクリックすると、宛先および差出人のデータがハガキの裏面に記入され、パーソナルコンピュータの予め指定されたフォルダに格納される。ユーザは、こうして作成されたハガキその他のカードをプリンタに出力することができる。ハガキの場合は、切手を貼って投函し宛先に送付することができる。

【 0 0 6 1 】

以上に説明した手順に代えて、ハガキその他のカードのメッセージ記入面を先に編集し、その後に差出人、宛先を設定することができる。この場合、図 9 の画面の下方に示す「適用」ボタンおよび「メール送信」ボタンが上述の確認画面の「適用」ボタンおよび「メール送信」ボタンと同じ機能を果たす。

【 0 0 6 2 】

以上に、この発明を具体的な実施例について記述したが、この発明は、このような実施例に限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の一実施例のシステムの全体的な構成を示すブロック図。

【図 2】 この発明の一実施例のシステムのホームページのトップページの構成の一例を示す図。

【図 3】 オンライン名刺印刷のプロセスを示すフローチャート。

【図 4】 オンライン名刺印刷のプロセスで使用される名刺テンプレートを選択する画面の一例を示す図。

【図 5】 この発明の一実施例におけるオンライン名刺作成ページの一例を示す図。

【図 6】 この発明の一実施例におけるデータ利用プログラムの機能を示すブロック図。

【図 7】 この発明の一実施例におけるハガキ作成のプロセスを示すフローチャート。

【図 8】 この発明の一実施例におけるハガキのメッセージ記入面を編集する画面の一例を示す図。

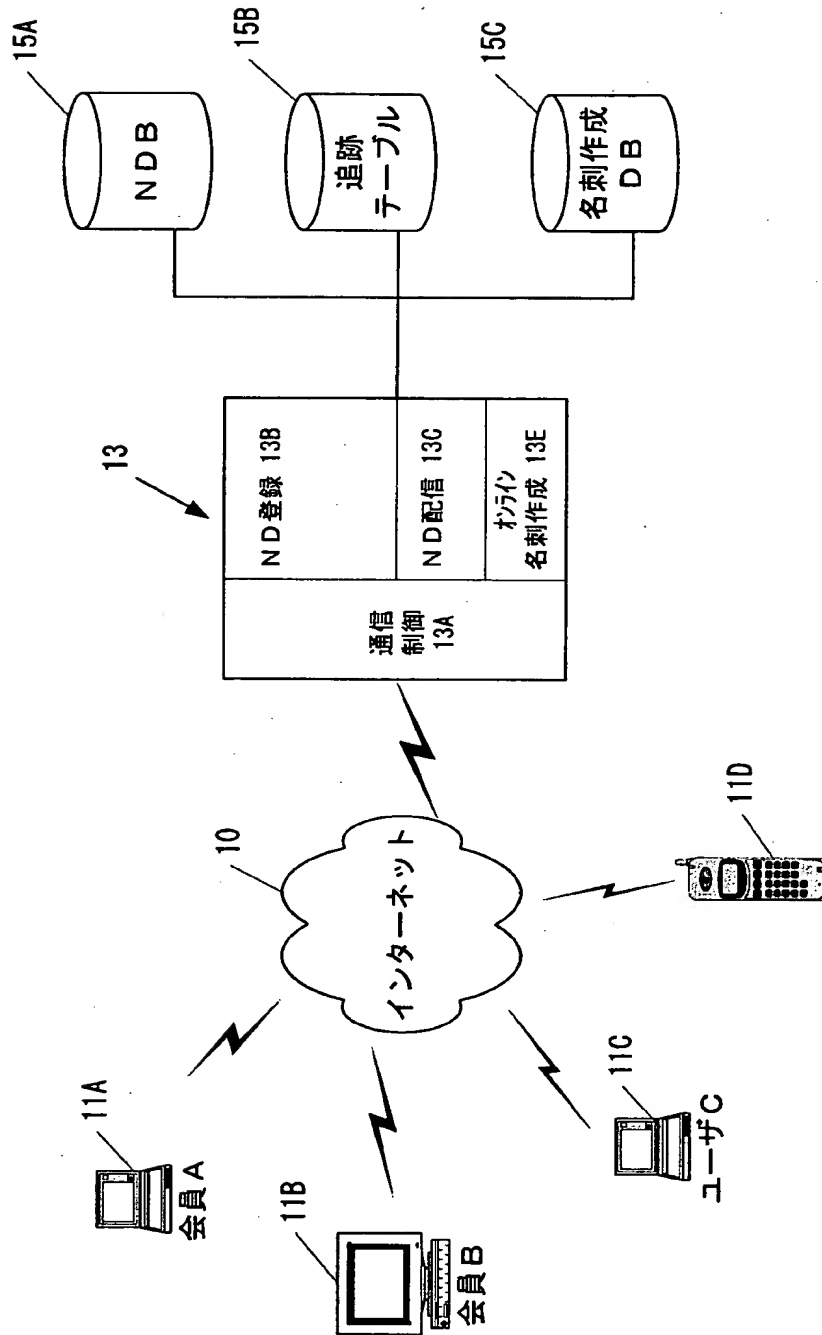
【図 9】 この発明の一実施例におけるハガキの差出人および宛先を設定するための画面の一例を示す図。

【符号の説明】

- | | |
|-------|--------------------|
| 1 0 | インターネット |
| 1 1 A | パーソナル・コンピュータ（ブラウザ） |
| 1 3 | ウェブサーバ |
| 1 5 A | 会員データベース |
| 1 5 B | 追跡テーブル（記録手段） |
| 1 5 C | 名刺作成データベース |

【書類名】 図面

【図1】



【図 2】

21

パ ナ ー 広 告

22

会員ページへのログオン

会員ID:

パスワード:

GO

名刺管理プログラム（フリー）をダウンロードすることにより、会員のデータをあなたのパーソナルコンピュータ上で利用することができます。下のボタンをクリックするとダウンロードを開始します。

GO 25

このボタンをクリックすると、会員登録をするためのページに移ります。

会員登録 26

検索 キーワードにより公開会員の情報を検索することができます

GO 27

検索

23

NDダウンロード/表示

ダウンロードまたは表示したい会員のIDを入力し、ダウンロードまたは表示を選択してください。

ND_ID

追跡 ☐ ☐ ☐ ☐

追跡者氏名

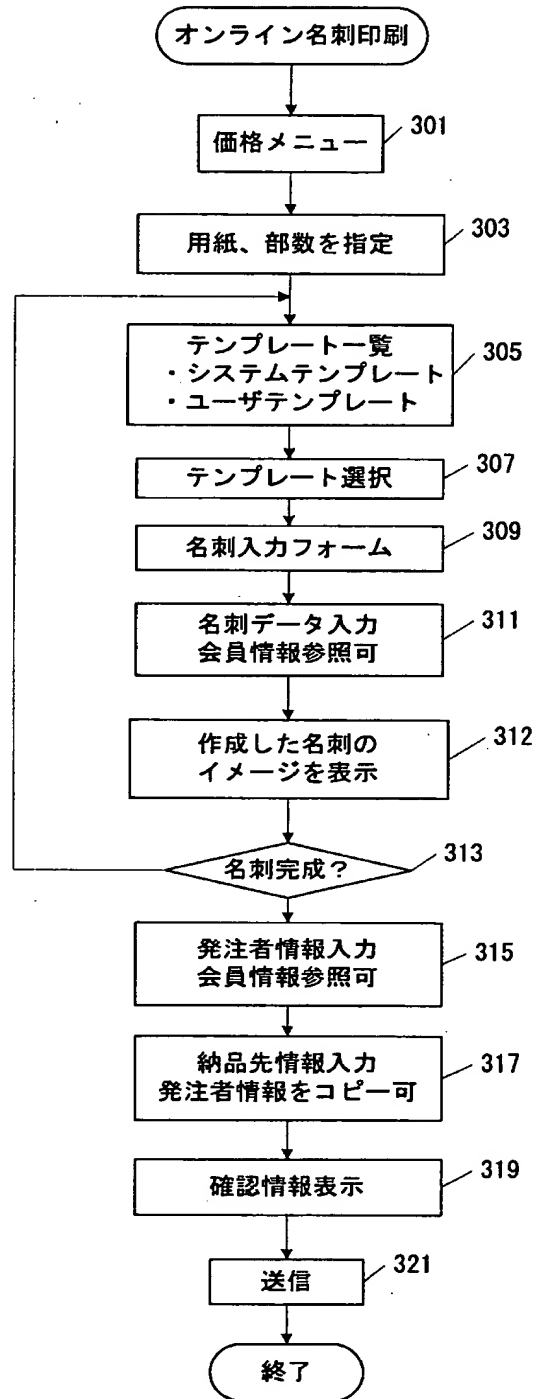
追跡者メールアドレス

☐ ダウンロード

☐ 表示

GO

【図 3】



【図4】

<div>システムテンプレート</div> <div>ユーザテンプレート</div>		<div>株式会社エヌ・ディーイー・ピー</div> <div>代表取締役</div> <div>李 文 生</div> <div>東京都 電話 : Email :</div>	<div>株式会社エヌ・ディーイー・ピー</div> <div>代表取締役</div> <div>李 文 生</div> <div>(写真)</div> <div>株式会社エヌ・ディーイー・ピー 東京都 電話 : Email :</div>
--	--	--	--

【図5】

名刺作成テンプレートを選んでください。 41

GO

編集

会社名

45a

編集

45e

画像

編集

45b

前

編集

45c

郵便番号

住所

住所2

電話番号

ファクス番号

E-mail

編集

45

名刺データを次のサイトからダウンロードすることが出来ます。
http://www.ndb.co.jp

45d

ID

編集

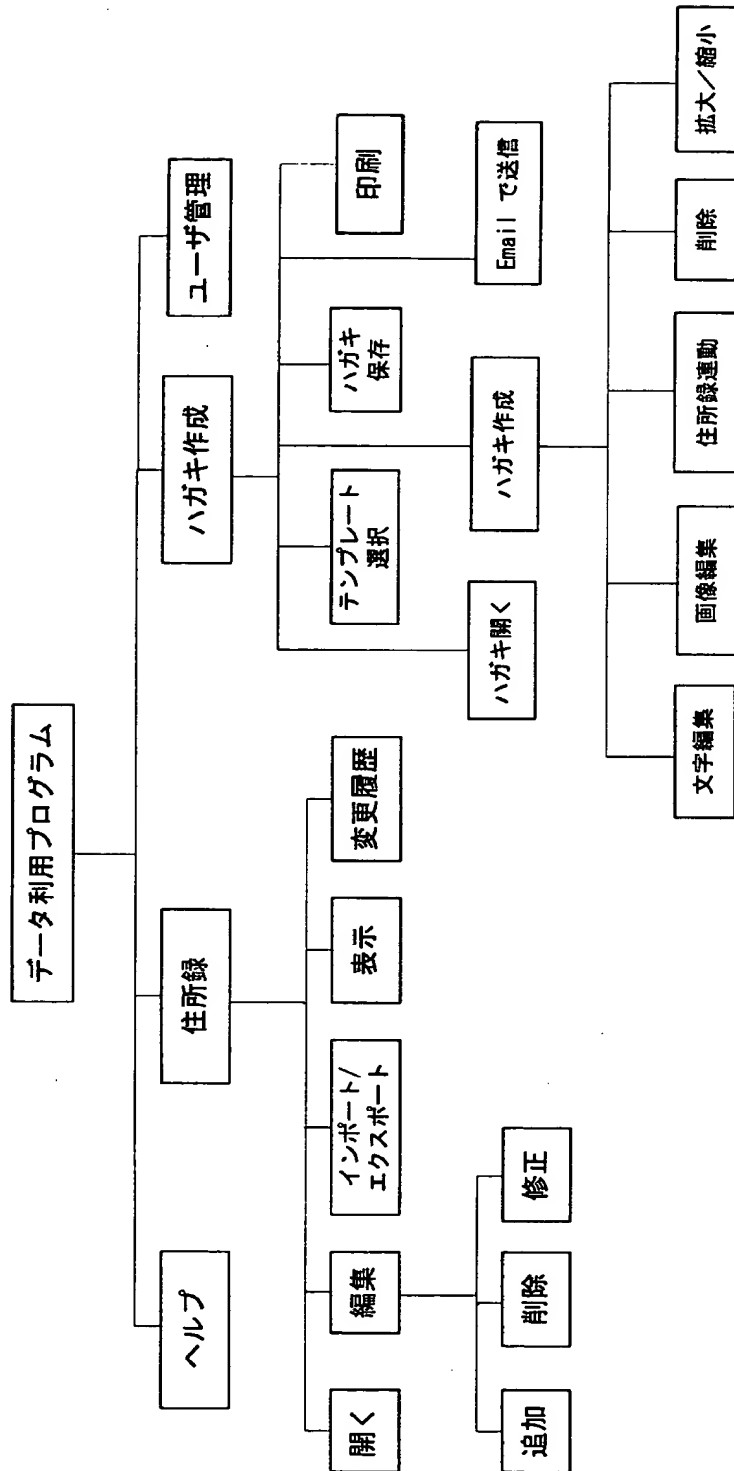
印刷枚数 47

紙の選択 46

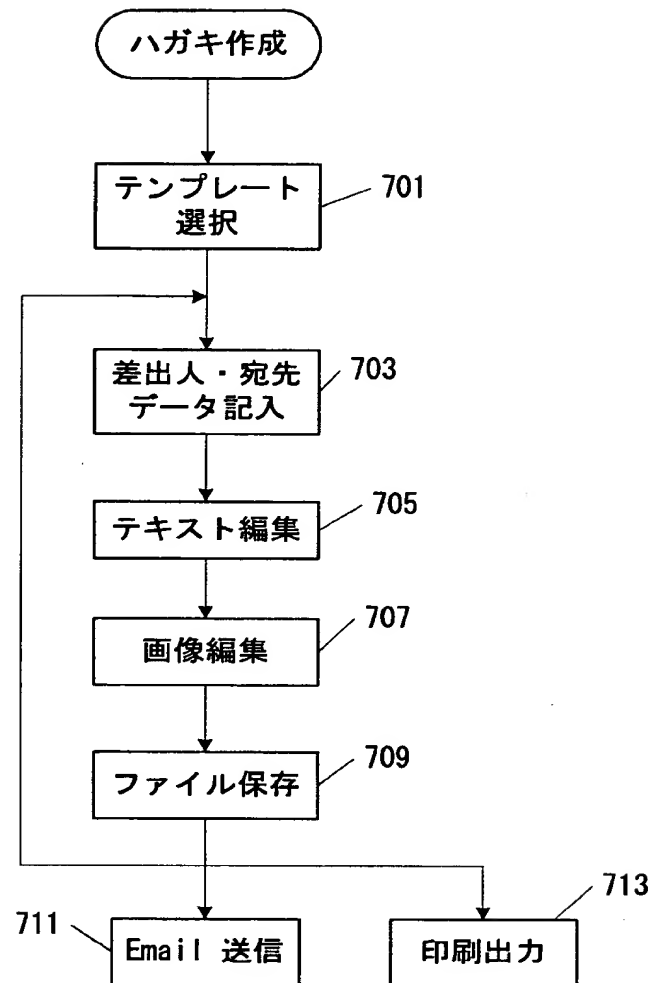
GO 49

参照

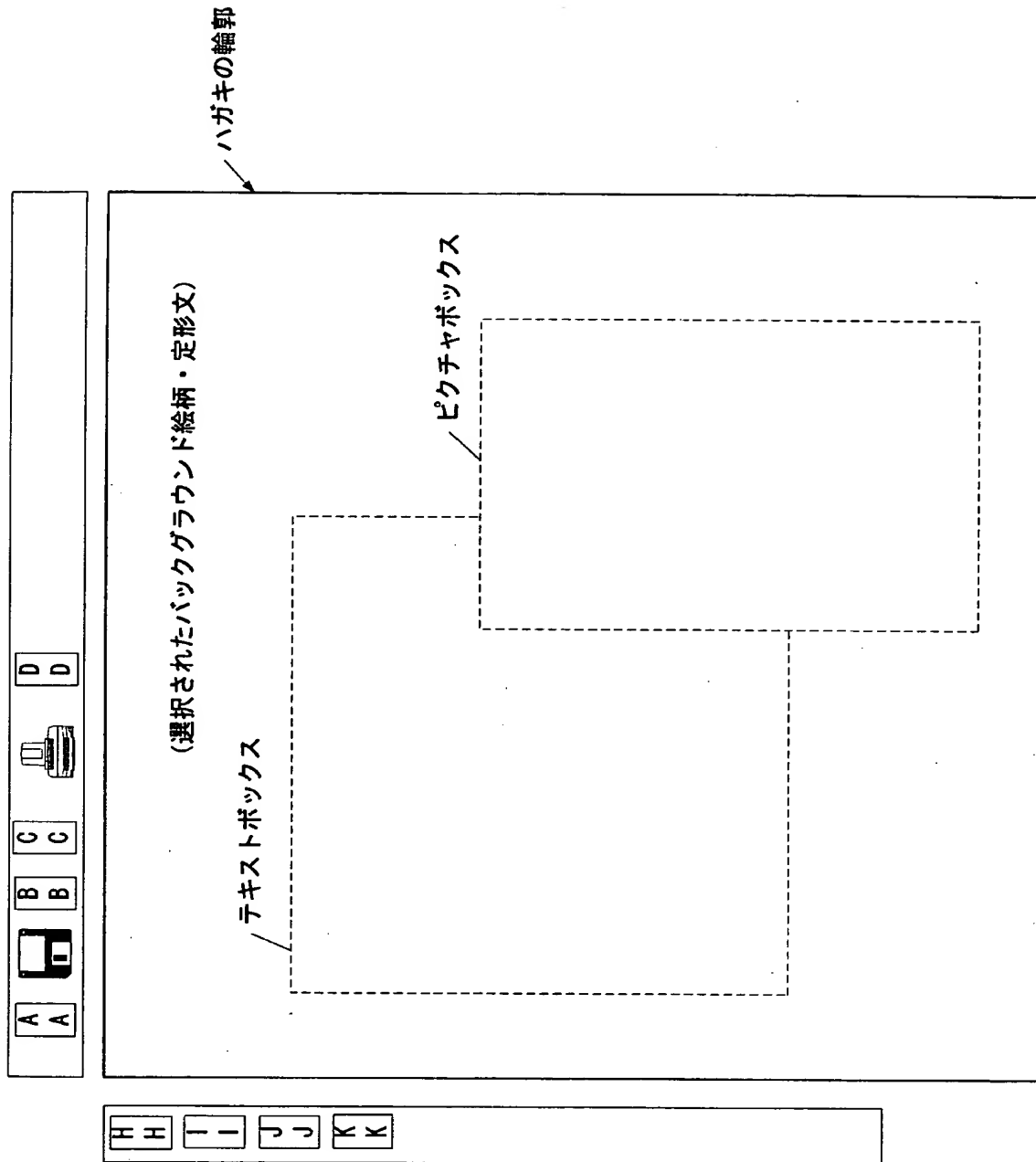
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

ハガキの設定

差出人

氏名 郵便番号

住所

宛 先

氏名	住所	郵便番号

宛先プロパティ

氏 名 郵便番号

組織名

部門名 役職

住所 1

住所 2

Email

適用

メール送信

閉じる

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 名刺を媒介とした情報を有効利用するためのシステムを提供する。

【解決手段】 複数の会員について識別コードおよびそれぞれの会員に関する情報を格納する会員データベースと、前記会員データベースに接続されたウェブサーバと、を備え、前記識別コードおよび前記ウェブサーバのURLが該識別コードに対応する会員の名刺に印刷されており、前記ウェブサーバは、インターネットを介するユーザからのアクセスに応じて、前記識別コードの入力フィールドを有するHTML文書をユーザに送信し、ユーザからの前記識別コードの送信に回答して該識別コードをキーとして前記データベースを検索して該識別コードに対応する会員の情報を取り出し、該情報をユーザに送信するよう構成されている。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500331334]

1. 変更年月日 2000年 7月13日

[変更理由] 新規登録

住 所 千葉県市川市堀の内3丁目16番29号 リバティーヒル壹番
館405号

氏 名 李 文生

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500329560]

1. 変更年月日 2000年 7月13日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区渋谷2丁目12番12号 三貴ビル6階

氏 名 株式会社エヌ・ディー・ビー